

*CHEMICAL PRODUCTS
LAMINATES AND BUILDING MATERIALS*

第124期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

AICA

アイカ工業株式会社

証券コード：4206

株主の皆さまへ

Top Message



代表取締役 会長

小野 勇治



代表取締役 社長執行役員

海老原 健治

「Value Creation(付加価値の創造)」に挑戦し、 持続的な成長とより一層の企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第124期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症に移行し、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国では景気の回復に減速感が見られましたが、その他の地域では好調に推移しました。しかしながら、原材料価格の高止まりに加え、円安の進行や世界的な金融引き締めによる景気への影響など、国内外ともに先行きは不透明な状況で推移しました。

国内建設市場においては、住宅着工戸数は、持家やマンションなどが減少し、前年を下回りました。非住宅関連においては、店舗、工場、倉庫などの着工面積が減少し、前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、健全な経営基盤の構築などを推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高236,625百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益25,286百万円(同23.0%増)、経常利益26,135百万円(同18.3%増)、親会社株主に帰

属する当期純利益15,135百万円(同 50.5%増)となりました。

配当につきましては、減配をしない累進配当を継続する基本方針に基づき、期末配当金は1株につき60円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は、1株当たり112円といたしました。

今後の景気動向につきましては、国内経済は、賃金の上昇率が高水準となり消費者マインドが向上することにより、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方、不安定な国際情勢、原材料価格やエネルギーコストの高騰、金利・為替の変動による経済への影響など、引き続き、不透明な状況が続くと予想されます。国内建設需要につきましては、住宅着工は前年と同水準で推移し、非住宅建設市場は堅調に推移する見通しですが、住宅取得マインドの低下や国内外の金利政策の変化による影響が懸念されます。アジア・オセアニア地域の経済は、各国政府の政策の下支えにより前年を上回る成長率が期待できますが、欧米の景気失速による影響、中国の不動産市場の回復動向などに留意してまいります。

このような経営環境の下、当社グループは、引き続き中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の基本方針に基づき、事業活動を通じて株主の皆さまに新たな価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献することで企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

CONTENTS

株主の皆さまへ……………1	財務情報(連結)……………5	財務諸表(単体)……………7	企業活動のご案内…………8
セグメント別のご案内……3	連結貸借対照表(要約)	貸借対照表(要約)	会社の概要……………12
	連結損益計算書(要約)	損益計算書(要約)	株式の状況……………13
	連結キャッシュ・フロー計算書(要約)		株主メモ……………14

セグメント別のご案内

Introduction of Each Segment

化成品セグメント

売上高

130,300百万円

55.1%

[売上高構成比]

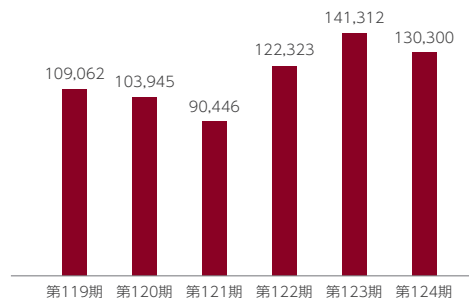
接着剤系商品は、国内においては、施工用の弾性接着剤などが好調でしたが、合板用接着剤などが低迷し、売上が前年を下回りました。海外においても、原材料価格の低下が売価に影響を与え、売上は前年を下回りました。建設樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が好調に推移したことから、売上が前年を上回りました。非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内においては、UV硬化型樹脂や有機微粒子などが好調で、売上が前年を上回りました。海外においては、テキスタイル用のウレタン樹脂などが低迷し、売上が前年を下回りました。この結果、売上高は130,300百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は9,280百万円（前年同期比23.8%増）となりました。



外装・内装仕上塗材 ジョリパット
物件名：麻布台ヒルズ 森JPタワー
設計：森ビル株式会社、株式会社日本設計
インテリアデザイン：Yabu Pushelberg

売上高

(単位:百万円)



UV硬化型樹脂
(車載ディスプレイ部分)
※使用イメージ



有機微粒子
(化粧品原料)
※使用イメージ

建装建材セグメント

44.9%

売上高 **106,325** 百万円

[売上高構成比]

メラミン化粧板は、国内においては、汎用的な単色の販売数量が伸び悩む中、柄物や高付加価値商品の伸長、価格改定の効果などにより、売上が前年を上回りました。海外においては、タイ、インドネシアなどで販売が好調に推移し、売上が前年を上回りました。ボード・フィルム類は、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が好調でしたが、汎用的なポリエステル化粧合板が苦戦し、売上は横ばいで推移しました。メラミン不燃化粧板「セラール」は、高意匠メラミン不燃化粧板「セラール セレント」や抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクトPlus」などの高付加価値商品の採用が新築・改修向けともに拡大し、売上が前年を上回りました。不燃建材は、非住宅向けの不燃ボード「マーレス不燃」が好調でしたが、押出成形セメント板「メース」が低調に推移し、売上が前年を下回りました。住器建材は、住宅向け洗

面化粧台「スマートサニタリー」などが好調で、売上を伸ばすことができました。この結果、売上高は106,325百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は20,339百万円（前年同期比21.5%増）となりました。



粘着剤付化粧フィルム オルティノ

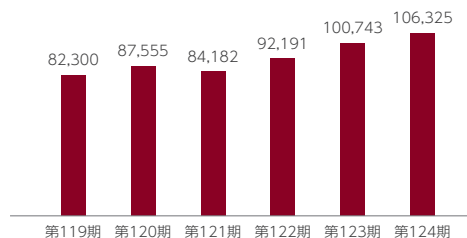
物件名：三井物産インシュアランス・ホールディングス株式会社

設計：三井物産フォーサイト株式会社

撮影：谷崎 春彦 (T-Studio)

売上高

(単位:百万円)



高意匠メラミン不燃化粧板 セラール セレント

物件名：大宮スカイ&スクエア

ザ・タワー モデルルーム

デザイン監修：ZA DESIGN Inc. 座間望



住宅向け洗面化粧台 スマートサニタリー

物件名：御経塚モデル

財務情報 (連結)

Financial Information

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第124期 2024年3月31日現在	第123期 (前期) 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	172,621	159,279
固定資産	102,117	90,769
有形固定資産	67,006	60,872
無形固定資産	11,436	12,532
投資その他の資産	23,675	17,365
資産合計	274,739	250,049
負債の部		
流動負債	62,822	59,669
固定負債	35,373	32,305
負債合計	98,195	91,974
純資産の部		
株主資本	140,033	131,986
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	8,545	8,541
利益剰余金	127,725	119,695
自己株式	△ 6,129	△ 6,141
その他の包括利益累計額	21,753	13,215
その他有価証券評価差額金	7,999	4,270
繰延ヘッジ損益	3	△ 12
為替換算調整勘定	13,470	8,962
退職給付に係る調整累計額	280	△ 5
新株予約権	19	23
非支配株主持分	14,736	12,848
純資産合計	176,543	158,074
負債純資産合計	274,739	250,049

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第124期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	第123期 (前期) 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	236,625	242,055
売上原価	172,485	185,257
売上総利益	64,139	56,798
販売費及び一般管理費	38,853	36,241
営業利益	25,286	20,557
営業外収益	1,977	2,423
営業外費用	1,128	892
経常利益	26,135	22,088
特別利益	644	—
特別損失	995	3,531
税金等調整前当期純利益	25,784	18,556
法人税、住民税及び事業税	9,060	7,662
法人税等調整額	△ 24	△ 32
当期純利益	16,749	10,926
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,614	867
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,135	10,059

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

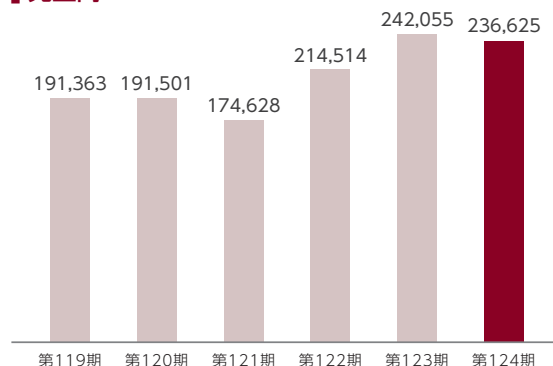
(単位：百万円)

科 目	第124期	第123期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	(前期) 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	28,482	19,852
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,574	△ 9,061
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 11,167	△ 9,355
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,953	1,510
現金及び現金同等物の 増減額	11,693	2,946
現金及び現金同等物の 期首残高	47,943	44,997
現金及び現金同等物の 期末残高	59,637	47,943

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

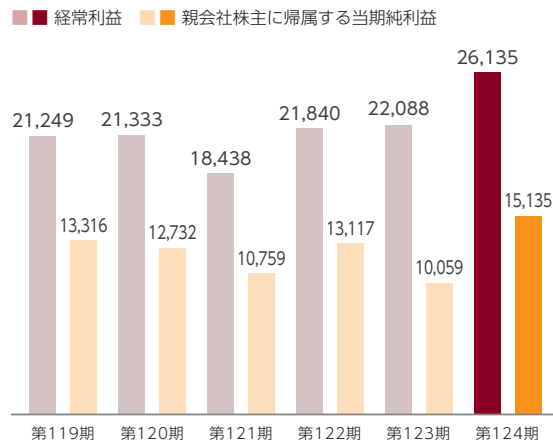
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



■ 配当について(剰余金処分)

当期の期末配当金は、1株につき60円といたしました。中間配当金として1株につき52円をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株当たり112円となります。

財務情報 (単体)

Financial Information

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第124期 2024年3月31日現在	第123期 (前期) 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	86,240	79,073
固定資産	100,653	94,702
有形固定資産	16,085	15,476
無形固定資産	3,757	3,943
投資その他の資産	80,810	75,281
資産合計	186,894	173,775
負債の部		
流動負債	31,613	30,053
固定負債	19,655	18,712
負債合計	51,268	48,766
純資産の部		
株主資本	127,621	120,732
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,445	13,440
利益剰余金	110,413	103,541
自己株式	△ 6,129	△ 6,141
評価・換算差額等	7,985	4,252
その他有価証券評価差額金	7,981	4,265
繰延ヘッジ損益	3	△ 12
新株予約権	19	23
純資産合計	135,625	125,009
負債純資産合計	186,894	173,775

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第124期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	第123期 (前期) 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	122,435	117,939
売上原価	85,039	83,421
売上総利益	37,396	34,518
販売費及び一般管理費	21,002	19,115
営業利益	16,394	15,402
営業外収益	4,169	3,131
営業外費用	891	330
経常利益	19,672	18,203
特別損失	—	3,592
税引前当期純利益	19,672	14,611
法人税、住民税及び事業税	6,100	5,220
法人税等調整額	△ 405	△ 1,098
当期純利益	13,977	10,490

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

企業活動のご案内

Corporate Activities

茨城工場内に新工場棟を建設

当社は、2011年に国内初の高級人造石オリジナルブランドとして「フィオレストーン」を発売しました。オフィス・商業施設・ホテル・駅・空港などの洗面カウンター用途や受付カウンター用途の需要も取り込みながら、国内シェアNo.1ブランドとして成長を続けています。世界的に良質な大理石が入手困難となる中、インテリア業界では、天然水晶に樹脂などを配合して成形した高級人造石の需要が拡大しています。

その需要増に対応すべく、約7.7億円を投じて既存工場棟の隣に新工場棟を建設し、加工ラインの増設を進めております。稼働開始は2024年10月を予定しており、カウンター加工品の生産能力は現状の約1.5倍に向上します。なお、フィオレストーン加工工場の運営は、カウンター開発・加工に強みを持つ当社100%子会社のアイカインテリア工業株式会社が担っており、フィオレストーンを含むストーン事業全体で2026年度に売上高約100億円(2022年度比約1.4倍)を目指す計画です。

設備投資の概要

設備投資内容	新工場棟の建設および高級人造石カウンター加工ラインの増設
設備投資額	約7.7億円
工事期間	2023年11月～2024年7月(予定)
稼働開始時期	2024年10月(予定)



新工場棟完成予想図



フィオレストーン使用例(キッチン天板・側板)

企業活動のご案内

Corporate Activities

NEDOの「量子・AIハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業」に4機関共同で採択

近年、自動車産業においては、自動車製造で排出されるCO₂の約25%が塗装工程に起因すると言われており*、塗装に代わる素材として加飾フィルムへの注目が高まっています。

当社は2021年に、業界に先駆けて自動車外装向け3次元加飾フィルムの開発に成功しました。内装よりも面積が大きい外装での塗装代替はCO₂排出量のさらなる削減が期待できるため、国内外のメーカーから多数の引き合いを受けており、現在は本採用に向けた評価試験などを進めています。

2023年11月には、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)から公募された「量子・AIハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業」に共同提案を行い、実施予定先として採択されました。共同提案を行ったのは、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人東京大学、セメダイン株式会社、アイカ工業株式会社の4機関です。

今回NEDOに共同提案した「量子・AIハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業」では、接着剤によって異なる素材が貼り合わせられた製品のリサイクル性を向上させるため、解体性接着剤の開発を促進するアプリケーション(アプリ)を開発します。当社は、易解体性能をもつ自動車外装向け3次元加飾フィルムの開発を通して、アプリの開発・実用化に貢献します。なお、完成したアプリは、当社の接着剤開発にも活かしていく方針です。本事業を通してCO₂排出量のさらなる削減に寄与する製品を開発し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

※下地やコーティングなどが重ね塗りにされており、特に乾燥工程を繰り返す行うことでCO₂が多く排出されている。



3次元加飾フィルム特設サイト

廃材を活用した2種類のメラミン化粧板の開発に成功

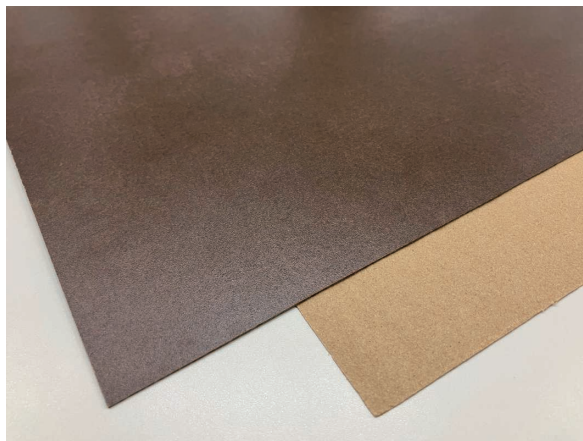
当社の主力製品であるメラミン化粧板は、家具・什器・パーティションの表面材として広く使用されている建築素材です。原材料の50%程度が紙であり、バイオマスを活用する製品として、一般社団法人日本有機資源協会のバイオマスマーク(バイオマス度50%)を2013年に取得しています。

当社はこのメラミン化粧板を、より地球環境に優しい製品へと進化させるべく開発を進めており、このたび、2種類の廃材を活用した製品の開発に成功しました。

1つは、メラミン化粧板の製造工程で生じる製品端材や不良品を粉砕し、原材料の一部に活用したメラミン化粧板です。現状では、製品端材・不良品は一定量を産業廃棄物として処理していますが、本製品が実用化すれば、廃棄量の削減につながります。将来的には製品として使用されたメラミン化粧板を回収・再利用することも視野に入れております。

もう1つは、古紙や廃棄衣類などが再資源化されたものを意匠層に活用したメラミン化粧板です。特に大量の衣類廃棄物が社会問題となる中で本製品が実用化すれば、それらの廃棄物の活用方法拡大につながり、循環型社会の推進・実現に寄与します。

引き続き、メラミン化粧板国内シェアNo.1メーカーとしての責務を果たすべく、実用化に向けたスケールアップやリサイクルの仕組みづくりを進めてまいります。



製品端材を活用したメラミン化粧板(左)と粉砕した端材を使用した化粧板原料のクラフト紙(右)



廃棄繊維素材を活用したメラミン化粧板(左)と意匠層に使用した廃棄繊維シート(右)

企業活動のご案内

Corporate Activities

生見愛瑠さんを起用した新CMを放映

当社は、より多くの方にアイカ工業という企業を知っていただきたいという願いを込めて、このたび新しい企業CMを制作しました。イメージキャラクターには、“めるる”の愛称で幅広い世代に親しまれている生見愛瑠(めくみ める)さんを起用しています。

新CMのキーワードは、当社のコア技術である「化学」と「デザイン」、1936年の創業以来時代の変化に合わせて柔軟に対応し成長してきた「変化する力(変幻自在)」です。「化学もアイカ! デザインもアイカ!」というリズムカルな音楽と、生見さんのキャッチーで軽やかなダンスで、「変幻自在なアイカ工業」を表現しています。

国内シェアNo.1のメラミン化粧板に限らず幅広く事業を展開していることを伝える『知らなかったやるじゃナイカ』篇と、実は当社商品が身の回りのさまざまなシーンで活躍していることを伝える『使用事例もいいじゃナイカ』篇の2つのパターンが関東・東海・関西の3エリアをはじめとする合計22都道府県で放映されました。

今後もさまざまな施策を通して、建築業界だけでなく、一般の方々からの認知度向上にも努めてまいります。



会社の概要 (2024年6月25日現在)

Company Information

プロフィール

社名	アイカ工業株式会社
本社	名古屋市中村区名駅一丁目1番1号J Pタワー名古屋26階 電話 052(533)3131(代表)
本店所在地	愛知県清須市西堀江 2288 番地
設立	昭和 11 年 10 月 20 日
資本金	98 億 9,170 万円
事業所	
生産拠点	名古屋工場 (愛知県) 甚目寺工場 (愛知県) 福島工場 (福島県) 伊勢崎工場 (群馬県) 茨城工場 (茨城県) 丹波工場 (兵庫県) 広島工場 (広島県)
開発拠点	名古屋 R & D センター (愛知県) 甚目寺 R & D センター (愛知県) 福島 R & D センター (福島県) 丹波 R & D センター (兵庫県)
営業拠点	札幌支店 仙台支店 盛岡営業所 東京支社 埼玉支店 横浜支店 千葉支店 北関東支店 松本営業所 宇都宮営業所 新潟営業所 名古屋支店 静岡支店 北陸支店 大阪支店 神戸支店 京都営業所 広島支店 四国支店 福岡支店 鹿児島営業所

重要な子会社

会社名	アイカインテリア工業株式会社 (愛知県)
	アイカハリマ工業株式会社 (兵庫県)
	西東京ケミックス株式会社 (東京都)
	アイカテック建材株式会社 (東京都)
	アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社 (シンガポール)
	エパモア・ケミカル・インダストリー社 (台湾)
	アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社 (タイ)
	アイカ・ラミネーツ・インドア社 (インド)
	アイカ・ラミネーツ・ベトナム社 (ベトナム)
	ウィルソナート・タイ社 (タイ)
	ウィルソナート上海社 (中国)

主要製品

化成品セグメント 外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

建装建材セグメント メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

取締役および執行役員

代表取締役会長	小野 勇 治
代表取締役社長執行役員	海老原 健 治
取締役常務執行役員	大村 信 幸
取締役常務執行役員	岩 塚 祐 二
○取締役 役	蟹 江 浩 嗣
○取締役 役	清 水 綾 子
取締役 監査等委員	森 良 二
○取締役 監査等委員	宮 本 正 司
○取締役 監査等委員	山 本 光 子
常務執行役員	小瀬村 久
常務執行役員	石 井 寛 之
常務執行役員	市 川 豊 明
上席執行役員	Lee Kin Seng
上席執行役員	倉 本 寛 直
上席執行役員	酒 井 信 禎
執行役員	森 島 英 謙
執行役員	何 文 杰
執行役員	石 井 直 美
執行役員	乾 功 一 郎
執行役員	金 川 元 勇
執行役員	田 邊 裕 勝
執行役員	足 立 雅 成
執行役員	佐 藤 克 尚

(注) ○印は社外取締役であります。

株式の状況 (2024年3月31日現在)

Stock Information

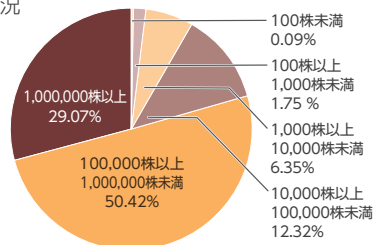
- 1.株式の総数 発行可能株式総数 116,577,000株
発行済株式の総数 67,590,664株
- 2.株主数 11,395名
- 3.大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,634	16.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,501	7.03
アイカ工業取引先持株会	2,407	3.75
アイカ工業株式会社保有会	1,581	2.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,364	2.13
住友生命保険相互会社	1,318	2.05
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	2.03
大日本印刷株式会社	1,293	2.02
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,223	1.91
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,089	1.70

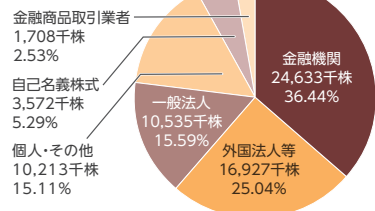
(注) 1.当社は、自己株式3,572千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は、自己株式3,572千株を控除して計算しております。

4.株式分布状況

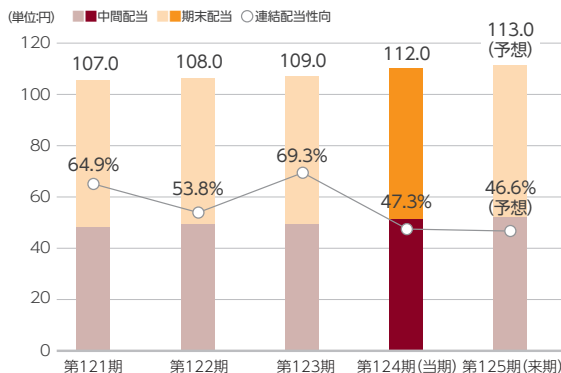
[所有株数別]



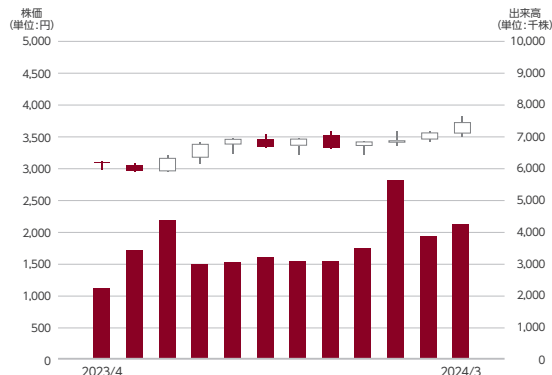
[所有者別]



配当金の推移



株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



信用格付の変更(格上げ)に関するお知らせ

当社が株式会社日本格付研究所(JCR)より取得している長期発行体格付につきまして、右記の通り格付が変更となりましたのでお知らせいたします。

格付の内容	変更前	変更後
長期発行体格付	A	A+
格付の見通し	ポジティブ	安定的

株主メモ

Shareholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)

〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

名古屋証券取引所プレミアム市場

公告の方法 電子公告により行います。公告掲載URL <https://www.aica.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

〈ご注意〉

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取（買増）請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 ●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

AICA

化学とデザインで面白いこと

